

まちの出来事

責任と自覚を持った行動で歩んでほしい
成人を祝うつどい

1/9

ました。

今年の成人式は平成2年度生まれが対象で、市内127人、市外54人の181人が参加。出席率は市内72.2%で、昨年の64.0%、一昨年の61.0%を大きく上回りました。



「成人を祝うつどい」が1月9日、市民会館小ホールで開かれ、輝かしい将来への希望を胸にした新成人181人が出席し、新たな時代を担う大人としての自覚を高めました。宮川市長は「何事にもチャレンジする精神で自分の可能性を信じ、忍耐と勇気と気力を持って目標に向かい、生き生きと輝くことができる大人としてこれからの時代を支えてほしい」と新成人を祝福し



地域住民の生活と安全を守る
紋別消防団出初式

1/9

紋別地区消防組合の紋別消防団と消防署の合同による消防出初式が1月9日、同組合庁舎前などで行われました。屋外式では同組合管理者の宮川市長ら幹部への敬礼や行列行進などをきびきびと行い、文化会館での屋内式では各種表彰などに臨み、地域防災への決意を新たにしました。

すがすがしい青空に恵まれたものの、屋外式は厳しい寒さのなか行われ、署員・団員らは白い息を吐きながら号令に従い、幹部らによる観閲を受けました。



新しい人権擁護委員
生方百合江さんが任命される

1/11

たちの相談に乗り、少しでも力になれるよう頑張ります」と抱負を話しました。

市の新しい人権擁護委員として南が丘町5丁目の生方百合江さんが新たに任命され、委嘱状の伝達式が1月11日、旭川地方法務局紋別支局で行われました。同支局の志藤支局長が生方さんに委嘱状を手渡し、「人権啓発や困った人の相談などに努めていただきたい」と期待を寄せました。生方さんは「初めてなので不安もありますが、地域の方



大谷幼稚園と元紋別保育園に
月光仮面からおもちゃや文房具が贈られる

1/14

は「月光仮面さんありがとう」と大喜びしていました。

出身の孤児院を支援するアニメ「タイガーマスク」の主人公、「伊達直人」を名乗って子どもや施設にランドセルなど贈る「タイガーマスク運動」が全国で話題になっていきますが、紋別市には「月光仮面」が現れました。1月14日朝、大谷幼稚園と元紋別保育園の玄関に「月光仮面」のイラストが貼られたダンボールが置いてあり、中にはおもちゃや文房具がたくさん入っていました。元紋別保育園の子どもたち

